岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　一級河川　太田川水系　東福田４支外　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　ダム・溜池

ボーリング名	東福田4支Bor.4	調査位置	東福田4支　NO.0-13.000　CL	北緯	34° 26' 44.1048"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年11月30日～ 令和2年12月 2日	東経	132° 32' 43.2039"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 172.54m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	6.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：D-0B（東邦地下工機） エンジン：NFAD-12M（ヤンマー）　ポンプ：BG-3B（東邦地下工機）

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1				礫混じり砂	褐	w5	h4	E	VI	d	D	GL 0 100 / GL 0 100	全体に粗砂が優勢。 φ5～30mmの亜角礫を20～30%程度混入する。 GL-2.5m付近、玉石をコア長4cmで採取する。 GL-1.8m及びGL-2.6mでガラス片を混入する。 GL-1.9m～2.0m間、木片を混入する。 GL-2.7m付近から中砂が優勢となる。	
2														
3	169.64	2.90												
4				風化花崗岩	褐灰	w4	h1	D	V	d	DH	GL 0 100 / GL 0 100	（中粒黒雲母花崗岩） 全体に弱風化し、コアは棒状を呈するもののハンマー打で土砂～礫状に砕くことが可能。 長石類は粘土化する。コアは刃物で傷が付く。亀裂面は不明瞭	
5	167.69	4.85												
	167.44	5.10	Gr	花崗岩	明褐灰	w3	h1	B	IV	c	CM		DH～CL級岩盤に分類出来る。	
6			Gr	花崗岩	明褐灰	w2	h1	B	II	b	CH	50 83 100	岩質は硬質。コアは岩片状主体で採取できる。 ハンマー打で濁音を発する。 CM級岩盤に分類出来る。	
	166.54	6.00											コア長10～48cmの棒状で採取できる。 岩質は硬質。コア肌はやや滑らか。 ハンマー打で金属音を発する。 亀裂面はやや開口する。亀裂面は比較的新鮮。 CM～CH級岩盤に分類出来る。	
7														
8														
9														
10														
11														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
4	1.15	4		
	1.47	320		
5	2.15	5		
	2.45	300		
50以上	3.00	50	0	0
		0		
50以上	4.00	50	40	
	4.04	40		

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
12/1	600	66	シングル／MC	200	150	0	W1 0	0
	400			250	150	0	W1 0	0
				300	150	0	W1 0	0
	240		ダブル／DC	100	150	4	W3 10	8
	170			200	150	4	W3 10	8
12/2	110			250	150	4	W3 20	15